

Singapore

シンガポール日本人学校クレメンティ校 寺内 健 2021.6.5 No.1

日本を離れて2か月

先月からの新たな規制により続いていたオンライン学習も今週18日金曜日で終わりそうです。

日本を離れ、2か月が経とうとしています。渡航の前日まで、引越しや住まいの片づけに追われてしまい、妻も私もヘトヘトになりながら、渡航の日を迎えました。現地に着いてからは、2週間のホテルステイがあり、学習の準備や先生方とのオンライン会議をして過ごしました。2週間の間は、食事は廊下に置かれ、廊下を歩くことすらできない状況でした。そして隔離期間が終わり、5月中旬に引越しの荷物が届き、先週、段ボールに入った箱をすべて片づけ終わりました。鍋などの調理器具が届いたので、少しずつ自宅で料理をしています。

シンガポールでは、政府が厳しい規制を行っております。在住している人は、スマートフォンにアプリをダウンロードし、そのアプリに、各店舗や場所の入り口にある QR コードを読み取らせませす。読み取れたかどうか確認する監視の職員が必ずと言っていいほどいて、確認ができないと店舗や施設の中には入れません。このアプリによって、誰が、どこに、いついたかを把握し、感染者が出た場合、濃厚接触者に政府から、PCR 検査をするよう連絡が来ます。今は感染者が1日20~30人くらいですが、5月の中旬に感染者が増加したため、1か月、すべてのレストランが閉鎖、2人以上での外出禁止、各企業へのリモートワークの通達がありました。私も、基本的にはオンライン授業を子どもと行っています。出勤は、週に1回ほどで、あとは、自宅でオンライン授業や会議などを行っております。4月25日に始業式が行われてから5月中旬までは、日本の学校と同じように、教科書を使って授業を進めていました。授業については、教科は日本と同じですが、体育と音楽はシンガポール在住の先生が英語で教えてくれます。そして英会話は週3回ありますので、英語に触れる機会が多く、子どもたちにとっては英語に親しむ機会が増えるよい環境だだと思います。オンライン授業が6月13日まで続きますが、「オンラインでも教室の授業の質を落とさないように」「オンラインでしかできないことをやろう」と6年生の同学年の先生4人で日々打ち合わせをしながら授業を行っております。今後もこの場を借りて、情報を配信していきたいと思っています。



校舎と周辺の様子（都市ですが緑がたくさんあります）

Singapore

シンガポール日本人学校クレメンティ校 寺内 健 2021.6.18 No.2

シンガポールの衣食住

先月からの新たな規制により続いていたオンライン学習も今週18日金曜日で終わり、来週から学校が再開します。新規感染者は一桁ほどです。強い規制がまだまだあります。レストランもまだ開店していません。しかし、できることの中で楽しめることを見つけていきたいなと思っています。今日から、「衣食住」について紹介します。

どんな服を着ているの？

シンガポールの気候は、年中暑いそう
で。湿気もけっこうあります。私はこ
ちらに来て、まだ一度も長ズボン
を履いていません。現地に住んで
いる方々も、学校の先生方も涼
しい格好をされています。肌寒
いときもあるかもしれないと思
い、長袖、長ズボンやジャケット
など持ってきているのですが、
まだ出番はありません。

しかし、日本の梅雨時期や真夏に
比べると過ごしやすい気がします。
6月は一番暑いときで、日中は3
2、3度くらい。木陰にいるとき
にかぜが吹くととても気持ち
がいいですが、日差しは強め
です。そして、シンガポールには
、いろいろな人種の方がいら
っしゃいます。通勤で使うバス
の中にも様々な人種の方が
いらっしゃいました。そんな多
民族国家だからこそ、服装も
宗教によっても違いますし、
出身の国の雰囲気を感じられ
る気がします。



国旗の意味

上部に白い三日
月と五つの白い星が
配置されています。
赤は普遍的親愛と国
民の平等、白は満ちと永遠な清澄と高潔を意
味し、三日月は隆盛する若い国家、五つの星
は、民主、平和、進歩、正義、平等の理念を
表すそうです。



Singapore

シンガポール日本人学校クレメンティ校 寺内 健 2021.7.20 No.3

規制と学校の様子

7月は学校での授業を行うことができました。シンガポールの新規感染者は増えたり減ったりで、街の中での規制は続いています。レストランは6月中旬に開きましたが、二人までしか入れないため、家族連れは基本的に自宅での食事か、レストランの場合は席を離れて座ります。私は娘がいるので、2人と1人に分かれています。規制はまだまだ続きそうですが、できることの中で充実した日々を過ごしたいと思います。

通常の時程

8:00	朝の会	健康観察	朝学
8:30~	9:15	1時間目	
9:25~	10:10	2時間目	
10:30~	11:15	3時間目	
11:25~	12:10	4時間目	
12:15~	12:35	お弁当	
12:35~	13:05	昼休み	
13:10~	13:55	5時間目	
14:05~	14:55	6時間目	
15:05		バス下校	

さて、今回は学校の様子について紹介したいと思います。クレメンティ校は大きな学校です。教員も60人ほどおり、クリーナーさんや警備員さんを含めると、かなりの人数になるかと思います。通常の時程は、左のようになります。給食とそうじはありません。下校の時刻が30~40分日本の学校よりも早いので、この差は本当に大きい気がします。私が担当する6年生では、国語と算数を教科担任制にしており、他の教科も教材研究を分担して行うので、授業に関する打ち合わせする必要があり、毎日の30分ほどの時間は大変貴重な時間だと感じます。しかし、コロナにおける規制により、授業中に2人以上でのグループ活動や体育での活動はできません。2週間前までは、30人以上の音楽の学習ができずに、教室と音楽室とをオンラインでつなぎ、授業をしていたほどです。時間的には少し余裕はありますが、その分、規制のために対応しないといけないことは増えているように感じます。しかし、私にできることは、6年生の子どもたちが笑顔で最後の年を無事に終わらせること。そして、保護者も含めて、安心して学校に日々通えるようにすることです。そのために、自分ができることを一生懸命やるしかないと思っています。

※夏休みは8月1日からで、2学期の始業式は8月30日です。



職員室の様子

Singapore

シンガポール日本人学校クレメンティ校 寺内 健 2021.8.20 No.4

シンガポールの夏休み



シンガポール日本人学校クレメンティ校では、30日から2学期が始まります。夏休みが終わりに近づくと、なんだかもやもやしてきますね。(笑) 校内の研修や校外の研修も設定されておらず、各自が見つけたオンラインで研修に参加しています。先生方それぞれ、日頃もちにくい家族との時間や海外ならではの楽しみを見つけて充実した日々を送っていらっしゃるようです。私も、海外ならではの楽しみを見つけようと、いくつか観光地に行きました。今回は、仕事を離れて、紹介したいと思います。



左上：マーライオン公園です。金融系の企業や高級ホテルが並ぶ大都市でした！

左下：チャンギ国際空港内のジュエルという施設です。たくさんのお店や人工の巨大な滝があったり滝の横を電車が走ったりと、未来ではないのですが未来に来た感じです。

右：アラブストリートの壁画です。シンガポールは多くの文化が混在しています。「どの文化も互いの文化を邪魔していない、静かに尊重し合う」雰囲気を感じます。

Singapore

シンガポール日本人学校クレメンティ校 寺内 健 2021. 10. 23 No.5

閉塞感からの脱出

シンガポールの新規感染者は、2週間前から3000人を超え、ここ2～3日は4000人を超えています。本校では、教員には出ておりませんが、子どもや家庭、警備員さんにと、感染者が出ております。日本は落ち着いてきたと聞いていますが、おそらく感染対策は引き続き行われていると思います。シンガポールでは過去最高の感染者数ですが「With コロナ」ということで、ロックダウンをせずに、「レストランは2人組まで」などの規制はありますが、ほぼ通常通りに生活を続けております。しかし、辛いのは子どもたちです。私は6年生の担任をしておりますが、2回のオンライン学習期間があり、4月から合計すると2か月ほど自宅での学習をしました。そして、修学旅行、運動会も中止。教室内では、席に座って隣の人とだけ話をし、立ち歩いて話すことは禁止です。外で子どもたちが入り乱れて遊ぶこともできません。他にもいくつか規制があります。小学校生活最後の年に、苦しい思いをさせているし、担任として、「離れなさい」「ディスタンスを取ろう」「話すのは自分の席だよ」「3人組になってるよ」など言いますが、子どもたちの気持ちが分かるからこそ、子どもたちに「こんなこと言うの、やだなあ」と思いながらも、規制を守らせています。修学旅行が中止になった日、学年主任が、何か学年でイベントをやろうと提案してくれました。子どもに提案すると、もちろん賛成で、さっそく実行委員を立てて、イベントの企画がスタートしました。実行委員の子に、どんな気持ちで企画しているかと尋ねると「小学校生活最後の年は戻ってこない。だから楽しめるかどうかは自分たち次第なんだ」と言葉が返ってきました。閉塞感はあるけれど、あきらめるのではなく、規制がある中で別の方法で楽しもうとしている子どもの熱意が素敵でした。10月22日（金）に、4学級をオンラインでつないで第1回のイベントをスタートさせました。「学級対抗、竹の子ニョッキ」です（笑）子どもたちは、席を移動せずにみんなで楽しめます。残念ながら私たちの学級は最下位でしたが、次は勝ちたい、とか次は何をやろうかと、前向きに話をしていました。「閉塞感からの脱出」は、子どもたちと共に創る行事や授業をきっかけになるのではないかと考えて、過ごしております。長い文章にお付き合いいただきありがとうございました。



East coast park

海辺でとても気持ちがいいです

Singapore

シンガポール日本人学校クレメンティ校 寺内 健 2021.12.6 No.6

「楽しい」は自分たちで創る！

私は、現在6年生を担当しておりますが、どこの学校の6年生も、卒業がいよいよ近づいてきたことを感じているのではないのでしょうか。シンガポール日本人学校クレメンティ校の6年生も同じです。日本と遠く離れていますが、1年間の流れや学習内容に大きな差はなく、日本の学校の行事を行います。しかし、現在、コロナ感染対策により、6年生としての働き、例えば、委員会、クラブ活動は年度初めから休止状態。他学年との交流もなし。ひたすら、自分の学年の授業を進めています。修学旅行も今のところ中止です。そんな6年生と、「何か行事をやろう！」ということで、「ミニ運動会」を計画することになりました。各学級から実行委員を立て、昼休みに話し合います。まずは、「赤白の対抗にするか」「種目は何にするか」「5人以上のグループは作ってはいけない、マスクオフの場合は3m以上の間を取るなどの国の規制は守れるか」子どもたちは、「1」からというより規制を考えつつも「0」から創り出そうとしています。これまで私が経験してきた運動会は、プログラムが決められており、教師主導で、子どもが発想するという行事ではなかなかありません。子どもたちの中には、教師に叱られる時間だと感じている子どもも少なくないのではないかと思います。「楽しい」は自分たちで創る！これがこれからの教育が目指す形なのではないかと、大げさかもしれませんが、そう感じました。教師の言うことを聞いて一生懸命がんばることも大切です。一方で、教師の言うことを聞いた子どもたちに「よくがんばったね！」と伝え続けると、大人の言うことを聞くことがよしという教育になってしまうのではないかと。教師が思い切り褒めるのは、自分の理想の実現に向けてトライした姿なのではないか。子どもが何をしたいのか、どうなりたいのかを問い続けて、その過程を子どもと一緒に歩める教師でいたいと思います。「0」から創るのは、大変な部分もありますが、6年部の教師みんなで力を合わせて乗り越えていこうとしております！



Singapore

シンガポール日本人学校クレメンティ校 寺内 健 2022. 1. 24 No.7

シンガポール日本人学校、学校紹介

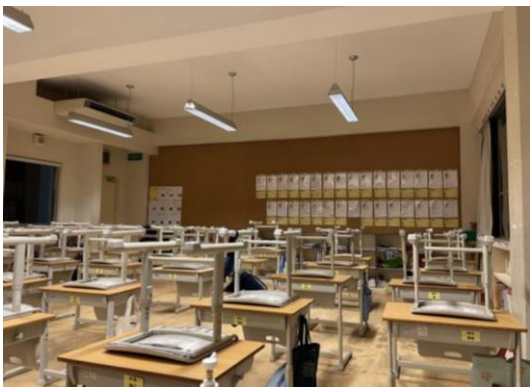
早いもので、3学期に入りました。2学期に行った6年生みんなで作ったミニ運動会は大成功でした。体育で撮った綱引き、徒競走、ポーリングの動画を編集し、オンラインで6年生全教室をつなぎ、動画を流しながら子どもが実況中継をするという斬新な運動会でした。シンガポールの気候は、年間通して30度を超え暑いですが、最近はとても涼しいです。さて、今回は、学校紹介をしていこうと思います。



職員室は50人以上の先生方が働いています。職員会議はマイクを使うくらい大きな職員室です。



会議や打ち合わせをする場所です。ちょっとした打ち合わせを各分掌で行います。



教室は日本とほぼ変わりません。クリーナーさんがいるので児童の掃除時間はありません。



体育館はとても広いです。体育の授業も日本の学校と同じように行われます。設備は整っています。